

市議会

News From Iseaki
City Assembly Report

いせさき

平成30年
1月1日
No.65

- 第5回定例会が開かれました
- 伊勢崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案など25議案が可決されました

市民病院から見た赤城山

第5回定例会

11月30日～12月20日

定例会の概要……………	2
主な議案の概要……………	2
一般質問……………	3
常任委員会審査……………	10
特別委員会調査……………	10
議案等の審議結果……………	11
表彰・各種お知らせ……………	12

新年の御挨拶



議長
田島 勉

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から市議会に対しまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市は、第2次伊勢崎市総合計画に基づいて、まちの活力が向上する地方創生の推進に着実に取り組んでおります。市議会といたしましても、市民の暮らし最優先の元気都市いせさきの実現を目指し、努力を重ねてまいる所存でございます。

どうぞ本年も変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げまして年頭の御挨拶いたします。

第5回定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、条例関係13件、平成29年度補正予算10件、人事案件1件、その他1件の合わせて25件です。（審議結果は、11ページから掲載）

■11月30日

本会議が開かれ、第5回定例会の会期を12月20日までの21日間と決め、会議録署名議員の指名を行いました。

次に、平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算（第2号）など専決処分2件の承認について審議し、採決の結果、いずれも承認することに決定しました。続いて、伊勢崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案など18議案について、市長から提案理由の説明があり、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。

■12月4・5日

一般質問が行われ、14人の議員が質問し、市長、教育長、選挙管理委員会委員長及び所管の部長から答弁がありました。

■12月7日

総務委員会が開かれ、付託された3議案及び請願について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■12月8日
文教福祉委員会が開かれ、付託された7議案及び請願について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■12月11日
経済市民委員会が開かれ、付託された2議案及び請願について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■12月12日
建設水道委員会が開かれ、付託された6議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■12月20日

本会議が開かれ、各常任委員長から付託された議案について報告があり、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

続いて、伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案など4議案について、市長から提案理由の説明があり、委員会付託を省略し、討論が行われた後、採決の結果、原案のとおり可決されました。次に、人権擁護委員候補者の推薦について1議案を審議し、異議ないものと決定されました。

主な議案の概要

伊勢崎市石川泰三教育みらい基金条例案

第4代伊勢崎町長石川泰三氏の孫である、本市在住の石川昭三氏から、平成29年9月に500万円の寄附をいた



伊勢崎クラブ
野田 文雄

安心安全なまちづくりについて

質問 ごみステーションの管理は、環境指導員が環境保全に努め、市民が快適に過ごせるまちづくりに貢献していただいています。悪質ともいえる指定日以外に出るごみや廃棄物などで苦情をいただくことが数多くあります。そこで、ごみステーションの防犯カメラの設置及び指定外ごみ出しの把握についてお尋ねします。

次に、ごみステーションの管理から指定外ごみの処理、資源ごみ回収と、環境指導員が疲弊してしまつたのではと心配しています。そこで、環境指導員の負担軽減についてお尋ねいたします。

答弁 ごみステーションの防犯カメラの設置については、本年度に防犯カメラ3台を購入し、特に違反ごみが多いごみステーション6カ所を選定し、平成29年10月から試験的に一定期間設置して、効果の検証を開始しています。次に、ごみ出しルールを守らない違反ごみ及び不法投棄ごみについては、ごみステーションごとの数量の把握は行っていませんが、環境指導員及び行政区役員の皆様により清掃リサイクルセンター21へ持ち込まれる数量及び行政区からの依頼に基づき職員が回収した数量で実態の把握を行っています。次に、環境指導員の負担軽減ですが、



ごみ出しルールを守らない違反ごみ

●平成30年度予算編成方針について
その他の質問

ルール違反ごみの削減及び不法投棄の防止については、ごみ出しカレンダーやごみの分け方出し方等のリーフレットの全戸配布、広報紙及びホームページ、ごみ分別アプリ等により、ごみの適正収集及び処理を進めるための情報発信を行うとともに、これらが頻繁に発見される場合は、環境指導員の皆様と連携を取り、注意喚起看板の設置や回収の配布等により、防止に取り組んでいます。また、収集されないルール違反ごみ及び不法投棄ごみは、環境指導員や行政区役員等による対応が困難な場合や、搬出に危険がある場合は、行政区の皆様から市へ回収依頼をしていただき、職員が回収することで負担軽減につながるものと考えています。

だき、今後も継続して寄附をいただける意向があることに伴い、本市としては、未来を担う子供たちが国際的に活躍するための教育に必要な事業の財源に充てる基金の原資としてこの寄附を活用するため、制定の必要を認めたものです。

伊勢崎市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例案

宮郷小学校区に公設の放課後児童クラブを設置することに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市境赤レンガ倉庫条例案

網産業で栄えた本市の歴史的建築物を活用することにより、市民の交流及び地域の活性化を図り、観光及び文化の振興に資することを目的として、伊勢崎市境赤レンガ倉庫を設置することに伴い、制定の必要を認めたものです。

伊勢崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例案

勧告に従わない者の氏名等公表制度を導入することに伴い、改正の必要を認めたものです。

土地の取得について

赤堀小学校整備事業に伴い、赤堀小学校用地として取得しようとするものです。

●土地の所在 西久保町一丁目及び西久保町二丁目地内

●地積 1万3595・31平方メートル

●買入予定価格 1億8149万8000円

●土地所有者 宗教法人大光寺



伊勢崎クラブ
斉藤 優

消防団について

質問 団員の皆様の自助、自己犠牲の精神の極みである心性の尊さは数値で表せるものではありません。報酬等のために所属している団員は皆無であり、その多寡によつて彼らの士気が左右するとは決して思いません。しかし、近年の最低賃金や賃金水準の向上、物価の高騰などを考え合わせると、感謝の念を前提として、常に公平の見地からの適切な配慮が客観的に継続的になされるべきと考えます。

そこで、消防団運営交付金、団員報酬及び出勤旅費の現状と他市との比較今後の見通しについて質問します。

また、消防団をより機能的かつ円滑に運営するための組織の再構築及び機構改革の考えをお聞かせ願います。

答弁 消防団運営交付金、団員報酬及び出勤旅費の現状と他市との比較については、本年度予算額で、消防団運営交付金が、前橋市は団員定数1320人に対し2135万円、太田市は700人に対し1513万円、本市は735人に対し2281万円。団員1人当たりの年間平均報酬額は、前橋市4万6873円、太田市8万3093円、本市7万3567円。出勤旅費は自治体により取り扱いが異なり、前橋市2555万円、太田市は出勤旅費ではな



地域住民を災害から守る消防団

●母子生活支援施設について
その他の質問

く出勤車両に対する手当などを別途計上、本市は2910万円で1回の出勤等につき3300円を活動に携わった団員に支給しています。今後の見通しについては、具体的な改定の予定はありませんが、消防団のさらなる充実と強化を図られるよう、活動の基盤でもある団員に対する処遇などについて適宜検討していきたいと考えています。組織の再構築及び機構改革については、環境や情勢の変化に随時対応するために大きな意義があるものと考えており、来年度に向けて、方面隊長の階級を分団長から副団長に変更することなどを検討しており、今後も消防団の皆様のご意見を伺いながら、必要に応じて組織改編を進めていく考えです。

平成29年度 各会計補正予算

(単位：千円)

区 分			補正前	補正額	計
一般会計（第4号）			72,767,489	1,227,042	73,994,531
特別会計等	小型自動車競走事業費（第1号）		15,352,556	5,779	15,358,335
	国民健康保険（第2号）		25,332,958	160,500	25,493,458
	介護保険（第2号）		16,988,552	6,789	16,995,341
	下水道事業費（第2号）		3,784,217	17,040	3,801,257
	病院事業（第1号）	収益的	15,676,189	7,759	15,683,948
		資本的	1,569,467	37,362	1,606,829

*病院事業の予算額は、支出予定額を掲載しています。

公設プールについて



政経クラブ
田村 幸一

質問 合併前の伊勢崎市、東村、境町にあり、現在も利用されている3つの公設プールは、地域の特性や世相のニーズが反映されていると思います。そこで、各施設の特徴をお聞きします。

次に、開場日数とプールのオープンを早める考えについて、また、利用者の形態をお聞かせください。

次に、プール施設管理運営委託費とあずまウォーターランド空気調和設備の更新工事費をお聞きします。

さらに、建てかえや統合の将来計画についてお聞きします。

答弁 各施設の特徴ですが、市民プールは、日本水泳連盟公認の50メートルの競技用があり、市主催の水泳競技大会等が開催されています。あずまウォーターランドは、屋内に25メートルプール、幼児用プール及びウォーター 슬라이ダーを備えています。境プールは、流水プール、ウォーター 슬라이ダー及び幼児用プールがあり、家族での利用が多く見受けられます。

次に、本年度の開場日数ですが、市民プールは、54日。境プールは、55日。あずまウォーターランドは、改修工事による休場があり256日の開場予定です。開場期間の延長については、プール管理委託内容の変更及び費用の増



市民プール

額などの影響があることから、研究課題としていきます。また、利用者の形態ですが、昨年度の市民プールの利用人数は2万8605人、あずまウォーターランドは8万2719人、境プールは1万6710人でした。

次に、本年度のプール施設管理運営委託費の契約額は、9220万8000円、あずまウォーターランド空気調和設備の更新工事の契約額は、5097万6000円でした。

次に、建てかえ及び統合の考えですが、老朽化が進んでいる施設もありますので、存続や統廃合等の方針を総合計画実施計画及びこれから策定する個別施設計画において検討していきます。

その他の質問

●イルミネーションについて

●市政運営について

読書の街いせさき推進事業について



公明党
阿久津尚子

質問 伊勢崎市立図書館では、市民が図書館に足を運びたいなるように努力をしていますが、まず、読書の街いせさき推進事業の現状を伺います。

次に、兵庫県伊丹市立図書館では、誰でも参加できる運営会議を毎月開催し、参加者のアイデアで年200回を超えるイベントの開催や企業などに雑誌の購入費を負担してもらう代わりに雑誌力バーに広告を掲載する雑誌スポンサー制度、人に薦めたい手持ちの本に推薦の帯を書いて棚に置く代わりに気に入った誰かの本を持ち帰る力エボンなどの先進的な取り組みを行っています。また、埼玉県新座市の全市立小・中学校の図書館や特別支援学級では、障害者や高齢者、外国人など幅広い層が楽しめるレブックを配置しています。いずれも、必要な取り組みと考えますが、教育長のご見解を伺います。

答弁 図書館では、ブックスタートで親子読書のきっかけ作りから始まり、読み聞かせや人形劇など親子で楽しめる事業、読書感想文書き方講座や調べ学習、おたのしみ袋、大人向けに図書館寄席、古文書講座など行っています。雑誌スポンサー制度は、スポンサーの継続が難しい状況もあると伺っており、今後、制度について多角的に調査



読書の街いせさきのキャラクター

研究をしていきたいと考えています。カエボンについては、類似の取り組みを昨年度から期間を定めて実施しており、今後は年間を通して実施について検討していきたいと考えています。

なお、本市では、録音図書や点字本、大活字本等をそろえ、読書のバリアフリー化に努めており、レブックはこれらの一環として引き続き拡大していきたいと考えています。

その他の質問

●子育て支援紙おむつ等支給事業の導入について

●中学校通級指導教室の充実及び推進について

●健康づくりと疾病予防の推進について

●華蔵寺公園のプレイルーム設置について

華蔵寺公園水生植物園について



伊勢崎クラブ
新藤 靖

質問 華蔵寺公園に隣接する華蔵寺公園水生植物園は、1年を通して多くの花や緑があり、季節を感じることもできる素晴らしい場所だと感じています。しかし、最近では水生植物の育ちが悪いためか、水生植物が見られないと寂しく感じている方もいるようです。現在は、赤堀花しょうぶ園やあずま水生植物園が有名になってきています。かつての華蔵寺公園水生植物園の賑わいを取り戻すためにも、今、本気で取り組まなくてはいけない時期にきているのではないかと感じています。

そこで、華蔵寺公園水生植物園の現状についてお聞かせください。

次に、水生植物の充実に向けた取り組みや市民参加の促進についてのお考えをお聞かせください。

答弁 華蔵寺公園水生植物園の現状ですが、園内では、春から夏にかけては桜、ツツジやハナシユウブが、夏から秋にかけてはアジサイやヒガンバナが、秋から冬にかけてはサザンカやツバキが咲き、1年を通して四季折々の花で来園者の皆様に楽しんでいただけるよう配慮しています。また、委託業者の常駐作業員4人が交代により、年間を通して除草、芝刈り、ハナシユウブの施肥やベンチなどの休憩施設の点検



華蔵寺公園水生植物園

を適切に行っています。

次に、水生植物の充実に向けた取り組みですが、本年度から、ハナシユウブの苗の購入及び株分けを行って、園内に計画的に植えつけを行い、水生植物を充実させる予定です。その際に市民参加の機会をできるだけ提供できれば、より身近な公園になると考えられますので、具体的なプロセスについては、今後の検討課題としていきたいと考えています。

今後適切な管理のもと、ハナシユウブを中心に年間を通して花を楽しむことができる、より充実した公園となるよう努めていきます。

その他の質問

●コミュニティバスあおぞらについて

●プール施設について

●小・中学校周辺整備について

平成30年度の公立幼稚園の運営について



伊勢崎クラブ
六本木摩美

質問 公立幼稚園の運営が、子ども・子育て支援新制度の特徴である、幼児教育や保育のニーズに将来に渡って対応できるのか危惧しています。

本市における公立幼稚園の3歳児の定員は、1学級20人です。しかし、来年度の募集は、3歳児30人になっています。そこで、定員増に至った理由と経緯についてお聞きします。また、3歳児の30人学級編成及び人員配置のお考えをお聞かせください。

次に、伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針では、3年保育の拡充は、試行的に実施した3園での就園状況や成果、地域的な就園ニーズ等を十分検証し、その可否を判断する必要がありますとあります。しかし、来年度の募集の時には、3年保育の拡充が決まっていたということになります。少し性急のような気がしますので、その検証内容及び経緯をお聞かせください。

答弁 本年度から試行的に実施している3歳児クラスの入園状況については、第一幼稚園、名和幼稚園及びあかぼり幼稚園の3園で定員の20人を満たしています。また、3歳児の入園募集に当たり、一部の園では募集定員を超過したため、やむを得ず抽選を行った経緯もあります。このような状況を踏

まえて、伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針では、3歳児の定員は、1学級20人とし、各園に1学級を設置するとありますが、来年度の入園募集では、1園当たりの3歳児の定員を30人となりました。なお、文部科学省の幼稚園設置基準では、1学級の幼児数は35人以下を原則とすると定められています。また、3歳児クラスは各園で1学級を編制し、担任教諭のほか3歳児支援員を配置したいと考えています。

次に、子ども・子育て支援新制度移行に伴い、来年度から公立幼稚園の保育料が統一されることから、3年保育の実施を含め、公立幼稚園のあり方を検討してきました。来年度からの3年保育の拡充は、伊勢崎市就学前教育・保育のあり方に関する基本方針に基づき、試行的に実施した本年度の入園状況を踏まえ、市内の就園ニーズに応えるため、新たに殖連幼稚園、宮郷幼稚園及びあずま幼稚園の3園で3年保育を実施することを、部内の検討委員会での議論を経て、平成29年7月の教育委員会会議で決定した経緯があります。

その他の質問

●3歳未満児の途中入園について

●ユニバーサルデザインについて

心の栄養としての教育と文化振興について



政経クラブ
堀地 和子

質問 市所有の美術品、工芸品は162点、約6億円に相当しますが、作品の現状と今後どのように役立てていくのか市長の考えをお聞かせします。

次に、地域資源として、これら収蔵品の評価及び美術館構想を念頭に取得した福沢一郎作品の状況を伺います。

次に、絵画は本物をじかに味わってこそ意義があります。常設展示室の設置の考えをお聞かせします。

さらに、来年度は文化会館の大改修に、建設当初と同額に近い金額が投じられます。投資効果が市民に伝わり、文化会館が変わったと思えることを盛り込むべきと思います。そこで、小さな展示室を作る考えをお聞かせします。

答弁 市所有の美術品や工芸品を、平成17年から市収蔵美術展として、境総合文化センターや赤堀歴史民俗資料館及び市内商業施設等で隔年開催しています。また、市のインターネット美術館でも公開を行いながら、芸術文化に対する市民意識の高揚と郷土の芸術文化の向上に努めています。

次に、地域資源として、本市にゆかりのある磯部草丘や本県出身の福沢一郎の作品は、郷土愛を育む意味からも非常に貴重な財産であると評価しています。本市は、福沢一郎の作品を26点

所有しており、市役所、文化会館、四ツ葉学園中等教育学校及び富岡市立美術博物館で19点の作品を展示し本庁舎内で7点を保管しています。

次に、市所有の美術品を常時展示する場所の設置については、常設展示ができる施設の整備や運営するための人材の確保等、多くの課題がありますので、今後、調査研究していきます。

さらに、来年度実施予定の文化会館改修に合わせ、展示箇所の設置について既に伊勢崎市文化協会と協議を行い、検討を進めています。設置後の展示箇所の活用方法についても協議を行いながら進めていきます。

その他の質問

●住みやすい地域社会と地域経済の良好な関係を見える形にするための施策について



福沢一郎「人間賛歌」文化会館の緞帳

境地区の定住促進対策について



伊勢崎クラブ
長 沼 宏 泰

質問 それぞれの集落には長い伝統と歴史に裏打ちされた文化や風習、いろいろな行事が引き継がれています。既存の集落に今後も多くの人が住み続けられることができたかと思っています。

一方で、大規模な住宅分譲を行った地域は急激に高齢化が進み、人口減少する傾向が見受けられます。中古住宅の流通促進対策やサービス付き高齢者向け住宅等の整備、市民農園等そこでしか得られない環境整備が行われないと一代限りの定住になかぬません。境地区では、通称学校用地が売却され、独身寮が平成30年に完成すると聞いています。そこで、ずっと住んでいただける本市の魅力を発信していくべきと考えますが、境地区の定住促進対策についてお聞かせください。

答弁 昨年度売却した境西今井地内の市有地については、現在、日野自動車株式会社社員寮として、平成30年夏の入寮に向けて新築工事が進められています。社員寮は520室が計画され、主に18歳から22歳までの社員の入寮を想定していると同っており、寮を利用できる期間は最長8年間、一定の年限で退寮となることから、退寮者が新たなお住まいを寮周辺に求める可能性が高くなると考えています。そ



520室が計画されている社員寮

のため、境地区の定住及び人口増に向けた施策として、周辺の居住環境の整備に取り組んでいます。

平成29年3月には、境百々地内に商業的土地利用が図られるよう地区計画を定め、生活利便施設の立地の誘導を進めています。また、平成30年の春から境赤レンガ倉庫の利用がスタートし、今後のまちづくりの拠点として大きな役割を果たすものと考えています。

このような取り組みにより、利便性が向上し、新たな人の流れが創出されにぎわいととも地域が活性化するという好循環が生まれ、定住する人がふえていくことを期待しています。

その他の質問

●農業用低速車マーク100%装着に向けた取り組みについて

●義務教育学校について

粕川水系の遊歩道整備について



伊勢崎クラブ
須 永 聡

を理解していただき、県へ働きかけてほしいとの強い思いがあるようですが、本市のお考えをお聞かせください。

答弁 粕川水系の遊歩道整備の状況は、合併以後、県が平成20年度から平成22年度までに華蔵寺公園からせせらぎ公園までの粕川の堤防をサイクリングロードとして整備し、平成23年度に本市に管理移管されました。また、せせらぎ公園北側から国道50号に交差するまでの区間は遊歩道として通行できる状態になっています。

次に、整備計画のない生活道路等は、主に地区からの要望書をいただいてから事業化に向けて検討をします。国道50号から上流部の整備に対する要望書は、現在までいただいていませんが、地元の意向については、認識しています。

次に、遊歩道整備についての要望は、河川管理者である県にしていたこととなりますが、その際には本市としてもできる限りの協力をしていきたいと考えています。

その他の質問

●文化会館の改修工事におけるバリアフリー化について

●赤城山を核とした広域連携について

子供への情報モラル教育について



伊勢崎クラブ
栗 原 真 耶

質問 情報モラル教育は、学校や行政だけでなく、家庭や地域も一緒に取り組まなくてはならない問題です。

そこで、本市の小・中・高校生のスマートフォン及び携帯電話の保有率とフィルタリング設定率をお聞かせします。次に、本市では平成21年度から平成25年度まで、有害サイト見守り隊を実施してきましたが、その後の取り組みについてお聞かせください。

また、情報モラル向上へ向けた取り組みについてもお答えください。

答弁 スマートフォン及び携帯電話の保有率は、文部科学省による本年度の全国学力・学習状況調査によると、小学校6年生が54・6％、中学校3年生が76・0％、四ツ葉学園中等教育学校の3年生が82・4％となっています。また、フィルタリング設定率は、平成27年に群馬県警察本部が県内の保護者を対象にした調査によると、小学生が74・7％、中学生が68・4％、高校生が62・2％となっています。

次に、本市のこれまでの取り組みですが、現在も学校において、スマートフォン及び携帯電話の利便性とともにその中に潜む危険性を理解し、情報機器を正しく使う方法を考える学習を継続しています。また、群馬県警察本部



情報モラル教育の強化を

や伊勢崎警察署などの関係機関と連携した講演会の開催や群馬県セーフネット標語の推進などに取り組んでいます。次に、情報モラル向上へ向けた取り組みですが、引き続き、家庭、地域及び関係機関とともに、子供たちが自ら考え、判断する力を身につけられるよう取り組んでいきたいと考えています。そのため、次期学習指導要領において新たに教科に位置づけられる道徳の授業を中心に、豊かな心をより一層磨いていきます。また、学級活動及び教科の学習における対話的な活動を通して相手への思いやりを持った、より適切なコミュニケーション能力を身につけられるよう支援していきます。

その他の質問

●境いよく保育所における病後児保育について

公共施設について



政経クラブ
多田 稔

質問 伊勢崎市公共施設等総合管理計画によれば、現在の施設を全て所有し、対策を講じずに更新した場合、毎年平均して約28億円の費用が不足するとわかりました。また、施設の更新時に、他の施設との統廃合や複合化などの実行計画を立案するとともに、全庁的な取り組み体制を構築し、計画的な維持更新を進める必要があるとしています。なお、計画は昨年度から30年間ですが、まだ具体的な削減目標がありません。

同計画の実現には、総合的な視点で削減目標を示す必要があると考えますが、市長の考えをお伺いします。

答弁 伊勢崎市公共施設等総合管理計画は、総量の適正化、長寿命化の推進並びに効率的な管理及び有効活用を基本的な取り組みとして、財政負担の軽減及び平準化を図り、公共施設等の総合的かつ計画的な管理運営の実現を目指しています。総量の適正化については、人口動態や社会情勢、ニーズの変化等を踏まえ、公共施設等の規模の最適化を推進し、更新時には統廃合及び複合化の検討に取り組むこととしています。また、個別施設計画の策定については、本計画を指針として施設分類ごとに策定し、各個別施設計画の素案については、財産管理部門、企画部



伊勢崎市公共施設等総合管理計画

門及び財政部門を中心に、施設の更新時期や更新内容等について調整を図っていくこととしています。さらに、今後、副市長を委員長、施設所管部長等を委員とした個別施設計画調整委員会を設置し、総合的かつ大局的な視点で協議していくことを予定しています。

削減目標を設定していない理由については、公共施設等総合管理計画の期間を通じて人口がほぼ変化しないと想定していることや、住民一人当たりの公共施設の延床面積が県内他市と比較して最も少ない水準であることから、現状の機能をできる限り確保していく中で、最適な配置及び規模を目指していくこととしたためです。

削減目標を設定していない理由については、公共施設等総合管理計画の期間を通じて人口がほぼ変化しないと想定していることや、住民一人当たりの公共施設の延床面積が県内他市と比較して最も少ない水準であることから、現状の機能をできる限り確保していく中で、最適な配置及び規模を目指していくこととしたためです。

高齢者支援について



党市
明良
公手島

質問 団塊の世代が後期高齢者になる2025年には、在宅医療で療養する高齢者が、30万人以上ふえると予想され、在宅医療の体制整備は喫緊の課題です。そこで、現状での在宅医療における医療ケアの内容についてお伺いします。また、在宅医療と介護連携相談窓口の業務内容、今後の在宅医療体制の充実について見解をお聞かせします。

次に、在宅医療では、訪問看護・介護サービスも重要な役割を担っていますが、現状の課題と今後について見解をお聞かせします。

次に、自身の葬儀の準備などを生前に行う、終活をする方がふえているようですが、市がかわかることで、市民にとつて安心感につながると思われます。そこで、終活支援事業を検討すべきと考えますが、見解をお聞かせします。

在宅医療と介護連携窓口の業務内容は、医療及び介護従事者に対しての在宅医療に関する相談窓口、情報共有の支援、研修及び市民の皆様への在宅医療介護連携の普及啓発です。今後の在宅医療体制の充実については、県が本年度中に在宅医療基盤の推進についての取り組みを示す予定で、本市は、県の整備事業と連携を図るとともに、在宅医療に係る市内医療機関等の情報発信を引き続き行っています。

次に、自身の葬儀の準備などを生前に行う、終活をする方がふえているようですが、市がかわかることで、市民にとつて安心感につながると思われます。そこで、終活支援事業を検討すべきと考えますが、見解をお聞かせします。

在宅医療と介護連携窓口の業務内容は、医療及び介護従事者に対しての在宅医療に関する相談窓口、情報共有の支援、研修及び市民の皆様への在宅医療介護連携の普及啓発です。今後の在宅医療体制の充実については、県が本年度中に在宅医療基盤の推進についての取り組みを示す予定で、本市は、県の整備事業と連携を図るとともに、在宅医療に係る市内医療機関等の情報発信を引き続き行っています。

答弁 在宅医療における医療ケアの内容は、定期的な医師による診療、各種検査、治療、薬の処方、療養の相談、みとりなどを行うとともに、急な病状の変化に対処できるよう24時間体制で対応を行うものです。

在宅医療と介護連携窓口の業務内容は、医療及び介護従事者に対しての在宅医療に関する相談窓口、情報共有の支援、研修及び市民の皆様への在宅医療介護連携の普及啓発です。今後の在宅医療体制の充実については、県が本年度中に在宅医療基盤の推進についての取り組みを示す予定で、本市は、県の整備事業と連携を図るとともに、在宅医療に係る市内医療機関等の情報発信を引き続き行っています。

その他の質問

●防災対策について

●次世代への平和の継承について

●投票しやすい環境整備について

放課後児童クラブについて



日本共産党議員団
長谷田公子

質問 宮郷小学校区は、本年度も待機児童が多数出た上に、来年度は委託事業から撤退するクラブも出るなど大幅な定員不足が明らかとなり、市が公設公営で運営することになりました。そこで、来年度に待機児童の発生が想定される小学校区と、来年度に向けての対策及び宮郷小学校区への十分な定員規模を持つ施設の建設の考えについてお答えください。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

答弁 待機児童対策として、待機児童の発生が予想される小学校区の民設クラブに対し、支援の単位分けや新規開設をお願いし、来年度は全ての小学校区で待機児童は発生しないものと見込ん

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

その他の質問

●介護保険及び高齢者福祉について

●職員配置及び雇用環境改善について

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

次に、以前は公設クラブにおける利用者負担金の減免制度は先進的でしたが、民設クラブに負担軽減策を広げる際に、軽減割合が減り、兄弟減免もなくなりしました。そこで、兄弟入所の軽減策復活の考えについてお尋ねします。

政策の推進状況について



いせさき未来
馬庭 充 裕

質問 平成27年12月定例会で、5歳児健康診査モデル事業について一般質問をしましたが、現時点での課題及び今後の予定についてお聞かせください。

次に、防犯、防災、環境保全の観点から空き家対策は重要な政策ですが、新規補助事業の現在までの実績及び今後の展望をお聞かせください。また、空き家バンクの設立の考え及び所有者の所在不明、相続人不在の空き家への対応の考えについてお聞かせください。

答弁 平成29年10月に5歳児健康診査モデル事業を公立の幼稚園及び保育所のうち4園の子供96人に対して実施し、全ての健康診査質問票が提出され、受診率は100%でした。質問票の内容から、集団活動する様子の確認が必要となった子供は21人で、このうち19人については、心理相談員等が活動の様子を確認しました。なお、診査の結果、事後支援事業として発達相談や個別教室の利用につながった子供は9人です。モデル事業に関する実施課題については、健康診査及び事後支援事業の内容も含めて年度末までに抽出した上で、課題に応じた対策を講じていきます。今後の取り組みですが、来年度は、私立の幼稚園及び保育園を対象を拡大したモデル事業を実施し、その結

次に、防犯、防災、環境保全の観点から空き家対策は重要な政策ですが、新規補助事業の現在までの実績及び今後の展望をお聞かせください。また、空き家バンクの設立の考え及び所有者の所在不明、相続人不在の空き家への対応の考えについてお聞かせください。

その他の質問

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

●環境政策について

常任委員会審査

11月30日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過の概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案については、審査において、非常勤職員の子供が2歳に達するまで育児休業が特に必要であると認める場合の条件について質疑があり、これに対し、子供が1歳6カ月に達する日後の期間に継続的な勤務のため保育を希望したが、当面保育の利用が行われないなどの場合に認めるものであるとの答弁がありました。

次に、平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算（第4号）については、審査において、庁舎維持管理事業における工事請負費の内訳について質疑があり、これに対し、本庁舎北館のエレベーターを4階まで昇降させるための工事で、新設に係る事業、躯体工事及び電気設備工事、一般管理費等の計3500万円を見込んだものであるとの答弁があり、また、交通安全施設整備事業における需用費の内訳について質疑があり、これに対し、道路反射鏡、視線誘導標及び区画線の修繕料であるとの答弁があり、さらに、生活保護費の増額理由について質疑があり、これに対し、上半期の執行状況等を勘案し、一月当たりの平均扶助世帯数を生活扶助費は25

世帯の増、住宅扶助費は30世帯の増をそれぞれ見込んだものであるとの答弁がありました。

付託された3議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市石川泰三教育みらい基金条例案については、審査において、名称に個人名を入れる理由について質疑があり、これに対し、寄附者の意向や、石川泰三氏は偉大な功績を残した偉人として認識されており、教育に対して非常に熱心であったことなどから総合的に勘案したものであるとの答弁があり、また、基金の将来展望について質疑があり、これに対し、英語教育に関する支援事業などを視野に入れ活用していきたいとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例案については、審査において、駐車場の確保について質疑があり、これに対し、支援員の駐車場として4台分、テナントに6台分用意するとの答弁があり、また、送迎の考えについて質疑があり、これに対し、1年生に限らず、当面送迎を行いたいとの答弁がありました。

次に、土地の取得については、審査において、価格の算出方法について質疑があり、これに対し、土地の変動率を修正率として乗じ、評価額としたものであるとの答弁がありました。

付託された7議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市境赤レンガ倉庫条例案については、審査において、職員体制について質疑があり、これに対し、日中は非常勤職員3人のシフト制による常時2人体制で、夜間は臨時職員2人のシフト制による常時1人体制もしくは、夜間警備委託による対応を検討しているとの答弁があり、また、職員の業務内容について質疑があり、これに対し、貸館等の受け付け業務、イベント等の企画及び実施、観光施設等の案内業務を検討しているとの答弁があり、また、企画展示等の内容について質疑があり、これに対し、市所有美術品や季節ごとの企画展示を考えているとの答弁があり、また、誘客イベントについて質疑があり、これに対し、ジャズや管弦楽器のコンサート、寄席や落語などが可能と考えているとの答弁がありました。

付託された2議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市道路占用料徴収条例及び伊勢崎市公共物管理条例の一部を改正する条例案については、審査において、改正による税収への影響について質疑があり、これに対し、約50万円の増収を見込んでいるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市景観まちづくり条例等の一部を改正する条例案については、審査において、改正後の審議会の委員構成について質疑があり、これに対し、学識経験者、公募による市民及び関係

団体を代表する者の計15人以内を予定しているとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例案については、審査において、公表内容及び方法について質疑があり、これに対し、勧告に従わない者の氏名、住所、勧告内容、公表理由及びその他市長が必要と認めたものをホームページに掲載するとともに、警察、報道機関及び他市町村へ情報提供を行うものであるとの答弁がありました。

次に、平成29年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）については、審査において、補正内容について質疑があり、これに対し、公共下水道費における委託料及び工事請負費は、主に事業費の確定による予算の組み替えで、物件移転補償費は、N・T・ケールフルの移設に伴う増額、流域関連公共下水道費における物件移転補償費は、水道管の切り直し補償費の増額であるとの答弁がありました。

付託された6議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

特別委員会調査

12月20日に世界遺産活用調査特別委員会が開かれ、平成29年度における実績及び今後の展開について調査を行いました。また、同日に幹線道路整備調査特別委員会が開かれ、都市計画道路3・3・3号北部環状線の整備について調査を行いました。

平成29年第5回定例会提出議案等の審議結果

市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第118号	平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認について	付託なし	11.30	承認(全会一致)
第119号	平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について	付託なし	11.30	承認(全会一致)
第120号	伊勢崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	12.20	可決(全会一致)
第121号	伊勢崎市石川泰三教育みらい基金条例案	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第122号	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第123号	伊勢崎市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第124号	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第125号	伊勢崎市境赤レンガ倉庫条例案	経済市民	12.20	可決(全会一致)
第126号	伊勢崎市道路占用料徴収条例及び伊勢崎市公共物管理条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第127号	伊勢崎市景観まちづくり条例等の一部を改正する条例案	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第128号	伊勢崎市屋外広告物条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第129号	平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算(第4号)	総 務	12.20	可決(全会一致)
第130号	平成29年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算(第1号)	総 務	12.20	可決(全会一致)
第131号	平成29年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	経済市民	12.20	可決(全会一致)
第132号	平成29年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第133号	平成29年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算(第2号)	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第134号	平成29年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第1号)	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第135号	平成29年度伊勢崎市水道事業会計補正予算(第1号)	建設水道	12.20	可決(全会一致)
第136号	平成29年度伊勢崎市病院事業会計補正予算(第1号)	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第137号	土地の取得について	文教福祉	12.20	可決(全会一致)
第138号	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	12.20	可決(全会一致)
第139号	伊勢崎市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	12.20	可決(賛成多数)
第140号	伊勢崎市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	12.20	可決(賛成多数)
第141号	伊勢崎市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例案	付託なし	12.20	可決(賛成多数)
第142号	人権擁護委員候補者の推薦について 牛久保浩之氏(長沼町)	付託なし	12.20	決定(全会一致)

報 告

番 号	件 名	期 日
第17号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30
第18号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30
第19号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30
第20号	市営住宅の管理上必要な訴え(和解を含む)の提起についての専決処分の報告について	11.30
第21号	市営住宅の管理上必要な訴え(和解を含む)の提起についての専決処分の報告について	11.30

請 願

番 号	件 名	付託先	結 果
第1号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	経済市民	継続審査
第3号	消費税10%増税中止を求める請願	総 務	審査未了
第4号	学校給食費の無料化を求める請願	文教福祉	継続審査
第5号	学校給食費の無料化を求める請願	文教福祉	継続審査

陳 情

番 号	件 名	付託先
第4号ー1	災害等緊急時に対応する危機管理体制の整備についての陳情	総 務
第4号ー2	災害等緊急時に対応する危機管理体制の整備についての陳情	建設水道
第5号ー1	ヘルスケア産業の創出に向けた「地域包括ケアシステム」の構築についての陳情	文教福祉
第5号ー2	ヘルスケア産業の創出に向けた「地域包括ケアシステム」の構築についての陳情	建設水道
第6号ー1	産業人材の採用・確保・育成等への支援についての陳情	文教福祉
第6号ー2	産業人材の採用・確保・育成等への支援についての陳情	経済市民
第7号	小口資金融資制度の改善についての陳情	経済市民
第8号	地域交通(バス)の運営維持についての陳情	経済市民

群馬県功労者表彰



須永武久氏

須永武久氏は、平成7年4月に旧境町議会議員に初当選され、6期22年にわたり議長を初めとする議会の要職を歴任されました。

地方自治の振興に尽力し、県民生活の向上に寄与した功労により、群馬県功労者として群馬県知事から表彰されました。

これに伴い、11月30日の定例会開会冒頭の本会議場において、議長から報告があり栄誉をたたえました。

平成29年視察来訪

特色ある施策や先進的な事例を調査するため、本市の事業を視察に訪れました。

来訪団体

5月12日 埼玉県本庄市議会
5月26日 福井県越前市議会
7月12日 富山県富山市議会
10月5日 広島県東広島市議会
10月10日 千葉県山武市議会
10月19日 鹿児島県薩摩川内市議会
10月24日 兵庫県西宮市議会
10月31日 愛知県一宮市議会

調査事項

- 伊勢崎市民病院について
- Made in いせさき事業について
- 手話言語条例について
- 新公立病院改革プランについて
- コミュニティスクールの取り組みについて
- 地方公設卸売市場の民営化について
- 医療機械器具整備事業について
- 緩和ケア事業について

会議録をご覧ください

会議の内容を記録した会議録は、市役所及び図書館等でご覧いただけます。また、インターネットで会議録の検索・閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

閲覧場所

各市民情報コーナー（伊勢崎市役所、赤堀支所、あずま支所、境支所）、伊勢崎図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館、市民プラザ、ふくしプラザ



伊勢崎市議会会議録検索システム
で検索



次回定例会日程表（予定）

2月	20日(火)	本会議
	22日(木)	本会議
	23日(金)	本会議（一般質問）
	26日(月)	本会議（一般質問）
	28日(水)	予算特別委員会
3月	2日(金)	予算特別委員会
	6日(火)	総務委員会
	7日(水)	文教福祉委員会
	8日(木)	経済市民委員会
	9日(金)	建設水道委員会
	16日(金)	本会議

議会を傍聴しましょう

本会議は議場で、予算特別委員会及び常任委員会（総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会）は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。なお、日程、時間等は変更になることがあります。

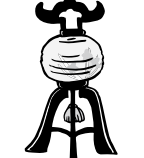
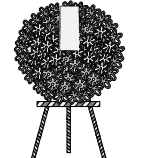
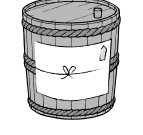
また、パソコン、スマートフォン等により、生中継のほか、録画配信で本会議の様子をご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

●伊勢崎市議会インターネット中継
<http://www.isesaki-city.stream.jfit.co.jp/>

寄附禁止のルールを守って 明るい選挙を実現しましょう

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると処罰されます。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

 御歳暮・御年賀	 入学祝・卒業祝	 病気見舞い	 代理が出席する場合の結婚祝い
 代理が出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪	 町内会の催しへの寸志や差し入れ
 お祭りへの寄附や差し入れ	 地域の運動会などへの差し入れ	贈らない！ 求めない！ 受け取らない！	